

平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月30日

上場取引所 大

上場会社名 イーサポートリンク株式会社
 コード番号 2493 URL <http://www.e-supportlink.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 堀内 信介
 (氏名) 仲村 淳

TEL 03-5979-0784

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年11月期第1四半期 | 1,002 | 3.0 | 120 | 61.2 | 116 | 63.8 | 107 | 111.9 |
| 23年11月期第1四半期 | 972 | △1.1 | 74 | 393.5 | 70 | 428.8 | 50 | 305.3 |

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 107百万円 (113.7%) 23年11月期第1四半期 50百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年11月期第1四半期 | 2,421.77 | — |
| 23年11月期第1四半期 | 1,143.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年11月期第1四半期 | 3,618 | 2,128 | 58.8 |
| 23年11月期 | 3,629 | 2,020 | 55.7 |

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 2,128百万円 23年11月期 2,020百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年11月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年11月期 | — | — | — | — | — |
| 24年11月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,068 | 1.0 | 117 | △43.3 | 110 | △45.0 | 105 | △40.0 | 2,378.78 |
| 通期 | 4,217 | 0.8 | 388 | △2.9 | 371 | △3.6 | 361 | △42.5 | 8,175.34 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 24年11月期1Q | 44,248 株 | 23年11月期 | 44,248 株 |
| 24年11月期1Q | — 株 | 23年11月期 | — 株 |
| 24年11月期1Q | 44,248 株 | 23年11月期1Q | 44,248 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) 重要な後発事象 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資などの緩やかな持ち直しの傾向が見え始めたものの、雇用情勢など未だ厳しい状況で推移いたしました。

生鮮青果物流通業界におきましては、バナナの輸入量・価額が前年を下回る状況で推移し、小売業の食料品販売額は店舗調整後で前年を下回る状況で推移いたしました。またIT関連投資に関する国内売上高は前年を下回る状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、「全ては生産者と生活者のために」を経営理念に掲げ、「食の流通情報を活用し、生産者の暮らしを支え、生活者の食生活に貢献する」企業グループを目指しております。この実現に向けて、事業基盤の強化に向けた業務受託における生産性の向上や総合的なサービスレベルの向上等に継続して取り組むとともに、当社が強みを持つサービスの拡販営業活動を推進し、新規顧客獲得に努めてまいりました。

こうした中、再構築を見据えて現行イーサポートリンクシステムの保守・カスタマイズを抑制したこと、また生鮮MDシステムの損益面での寄与等から、前年同期と比較して増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10億2百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は1億200万円（同61.2%増）、経常利益は1億160万円（同63.8%増）、四半期純利益は1億700万円（同111.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(システム事業)

システム事業におきましては、主として流通における情報システムの提供を行っております。提供サービスに関わるソフトウェア、ハードウェアなどの保守・機能拡張を実施し、サービスレベル向上や災害対応力強化に努めております。

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用を継続すると共に、近年の多様化する顧客ニーズへの一層の対応を目指し、再構築に向けた開発を進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、利用取引先数、データ件数を増加させてまいりました。

以上の結果、売上高は5億900万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は1億530万円（同32.8%増）となりました。

(業務受託事業)

業務受託事業におきましては、主としてサプライチェーンにおける流通オペレーション機能を提供し、生産性向上による更なる流通合理化に努めております。サプライチェーンの流通合理化を実現するため、オペレーション効率化、人員配置適正化、災害対応強化などを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は4億710万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は1億720万円（同11.2%増）となりました。

(農産物販売事業)

農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努めてまいりましたが、収支均衡には至りませんでした。

以上の結果、売上高は200万円（前年同期比27.4%減）、セグメント損失は120万円（前年同期はセグメント損失110万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて100万円減少し、36億180万円（前連結会計年度末比0.3%減）となりました。

内訳としては、流動資産が24億780万円（同2.3%減）、固定資産が11億350万円（同4.4%増）、繰延資産が400万円（同12.5%減）となりました。

流動資産の主な減少要因は、商品及び製品が280万円、仕掛品が100万円増加した一方、現金及び預金が1億000万円減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、ソフトウェア仮勘定が920万円増加したことによるものです。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて1億18百万円減少し、14億90百万円(同7.4%減)となりました。

内訳としては、流動負債が9億81百万円(同7.9%減)、固定負債が5億8百万円(同6.3%減)となりました。流動負債の主な減少要因は、短期借入金が42百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、社債が20百万円、長期借入金が13百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億7百万円増加し、21億28百万円(同5.3%増)となりました。

この結果、自己資本比率は58.8%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を1億7百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の業績予想につきましては、平成24年1月19日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。この税率変更により、未払法人税等は5百万円増加し、法人税等は同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,932,060 | 1,831,657 |
| 売掛金 | 381,786 | 360,851 |
| 商品及び製品 | 402 | 28,977 |
| 仕掛品 | 6,708 | 16,850 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,185 | 7,063 |
| その他 | 208,688 | 233,558 |
| 貸倒引当金 | △318 | △97 |
| 流動資産合計 | 2,536,513 | 2,478,860 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 250,476 | 247,341 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 335,259 | 287,351 |
| ソフトウェア仮勘定 | 102,285 | 195,041 |
| その他 | 35,095 | 32,627 |
| 無形固定資産合計 | 472,639 | 515,019 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 431,699 | 441,181 |
| 貸倒引当金 | △67,145 | △68,354 |
| 投資その他の資産合計 | 364,553 | 372,827 |
| 固定資産合計 | 1,087,669 | 1,135,189 |
| 繰延資産 | 4,961 | 4,339 |
| 資産合計 | 3,629,144 | 3,618,389 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 8,837 | 8,548 |
| 短期借入金 | 381,600 | 339,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 60,000 | 60,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 55,200 | 55,200 |
| 未払法人税等 | 14,363 | 12,478 |
| 賞与引当金 | 20,262 | 80,766 |
| その他 | 525,231 | 425,327 |
| 流動負債合計 | 1,065,495 | 981,320 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 110,000 | 90,000 |
| 長期借入金 | 81,600 | 67,800 |
| 退職給付引当金 | 241,603 | 251,384 |
| 資産除去債務 | 27,084 | 27,172 |
| その他 | 82,961 | 72,554 |
| 固定負債合計 | 543,250 | 508,911 |
| 負債合計 | 1,608,745 | 1,490,231 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,721,514 | 2,721,514 |
| 資本剰余金 | 620,675 | 620,675 |
| 利益剰余金 | △1,319,368 | △1,212,210 |
| 株主資本合計 | 2,022,820 | 2,129,979 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,422 | △1,821 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,422 | △1,821 |
| 純資産合計 | 2,020,398 | 2,128,157 |
| 負債純資産合計 | 3,629,144 | 3,618,389 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 972,790 | 1,002,005 |
| 売上原価 | 625,151 | 602,450 |
| 売上総利益 | 347,639 | 399,554 |
| 販売費及び一般管理費 | 272,884 | 279,024 |
| 営業利益 | 74,754 | 120,529 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 139 | 166 |
| 物品売却益 | 668 | 700 |
| 受取保険金 | 1,266 | — |
| 業務受託料 | — | 1,502 |
| その他 | 19 | 14 |
| 営業外収益合計 | 2,093 | 2,384 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,446 | 3,636 |
| その他 | 2,468 | 3,072 |
| 営業外費用合計 | 5,914 | 6,709 |
| 経常利益 | 70,933 | 116,205 |
| 特別損失 | | |
| リース解約損 | 66 | 236 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 14,510 | — |
| その他 | 34 | — |
| 特別損失合計 | 14,610 | 236 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 56,322 | 115,968 |
| 法人税等 | 5,745 | 8,810 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 50,577 | 107,158 |
| 四半期純利益 | 50,577 | 107,158 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 50,577 | 107,158 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △157 | 600 |
| その他の包括利益合計 | △157 | 600 |
| 四半期包括利益 | 50,419 | 107,758 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 50,419 | 107,758 |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | システム 事業 | 業務受託 事業 | 農産物販売 事業 | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|------------|-------------|---------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 485,807 | 458,671 | 28,311 | 972,790 | — | 972,790 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,545 | 2,073 | — | 3,619 | △3,619 | — |
| 計 | 487,353 | 460,745 | 28,311 | 976,410 | △3,619 | 972,790 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 115,852 | 155,407 | △11,723 | 259,535 | △184,781 | 74,754 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△184,781千円には、セグメント間取引消去2,415千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,196千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | システム 事業 | 業務受託 事業 | 農産物販売 事業 | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|------------|-------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 509,462 | 471,979 | 20,562 | 1,002,005 | — | 1,002,005 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,551 | 1,896 | 3,461 | 6,909 | △6,909 | — |
| 計 | 511,014 | 473,875 | 24,024 | 1,008,914 | △6,909 | 1,002,005 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 153,874 | 172,875 | △12,228 | 314,521 | △193,991 | 120,529 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△193,991千円には、セグメント間取引消去3,213千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,205千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。